

貝毒プランクトンモニタリング調査

網走水産試験場 調査研究部

網走水試の担当海域は網走南部、能取湖の2海域と4月の宗谷南部、網走北部海域

目的: 北海道全域における貝毒プランクトン出現と貝毒発生の傾向を把握して、貝類の計画的出荷をサポートする。

麻痺性貝毒原因プランクトン
渦鞭毛藻類
Alexandrium tamarense

オホーツク海表層低塩分水に多い

網走周辺では宗谷暖流の勢力が弱いとき、沖合からホタテガイ漁場に入ります

下痢性貝毒原因プランクトン
渦鞭毛藻類
Dinophysis fortii
Dinophysis acuminata
など

暖流系水に出現する

貝毒プランクトン調査計画(124年度)

H17年5月から、貝毒プランクトンモニタリング体制が強化され、定数を追加し、全道で調査しています。124年度は、図1に示すとおり、二級区等の生産海域区分(17区分)およびオホーツク海外域において貝毒プランクトンの調査を行います。124年度の調査は、表1の通り予定されています。

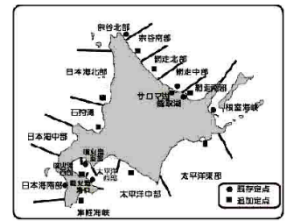


図1 貝毒プランクトン調査地点

表1 124年度調査計画

海域区分	調査地点	調査時期												担当			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1 宗谷北部	雄勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
2 宗谷南部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
3 網走北部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
4 網走中部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
5 網走南部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
6 サロマ海	サロマ海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
7 能取湖	能取湖	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	網走
8 宗谷海峡	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
9 太平洋側	尻別湾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
10 太平洋側	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
11 網走東部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
12 網走西部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
13 網走東部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
14 網走西部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
15 網走東部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
16 網走西部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
17 網走東部	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
オホーツク外海	網走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央
計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

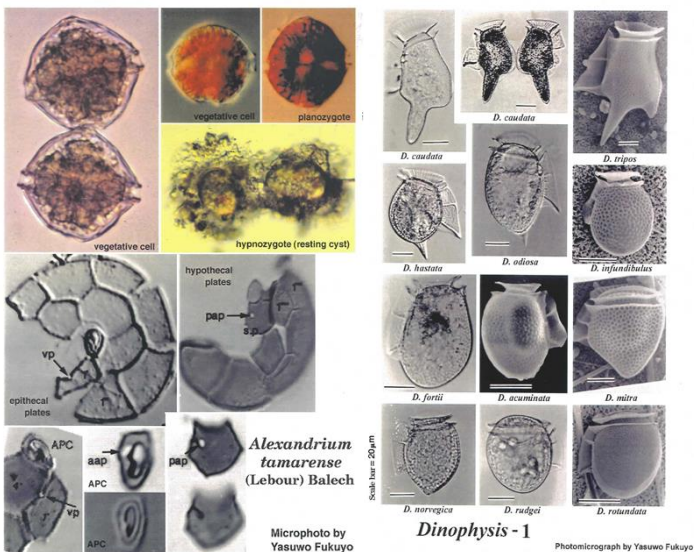
調査担当水産試験場・漁協・水試

1 網走東部 能取湖	16 網走東部 能取湖
2 網走東部 能取湖	17 網走東部 能取湖
3 網走東部 能取湖	18 網走東部 能取湖
4 網走東部 能取湖	19 網走東部 能取湖
5 網走東部 能取湖	20 網走東部 能取湖
6 網走東部 能取湖	21 網走東部 能取湖
7 網走東部 能取湖	22 網走東部 能取湖
8 網走東部 能取湖	23 網走東部 能取湖
9 網走東部 能取湖	24 網走東部 能取湖
10 網走東部 能取湖	25 網走東部 能取湖
11 網走東部 能取湖	26 網走東部 能取湖
12 網走東部 能取湖	27 網走東部 能取湖
13 網走東部 能取湖	28 網走東部 能取湖
14 網走東部 能取湖	29 網走東部 能取湖
15 網走東部 能取湖	30 網走東部 能取湖

調査担当機関が採水した海水試料は網走水試に持ち込まれる。

海水試料を濃縮・固定して、倒立顕微鏡下で貝毒プランクトンを種毎に計数。

検査結果を「貝毒プランクトンモニタリング速報」で関係機関に配信



日本水産資源保護協会編「有毒・有害プランクトン観察手法と分類」から抜粋

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB7)

(オホーツク海域・能取湖) 2012年5月22日

網走水産試験場調査研究部

地点 (透明度(m))	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	菌毒性原虫種			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (7.0)	5/21	0	8.0	32.38	0	0	0	0
		10	6.6	33.12	0	0	50	0
		20	5.7	33.20	0	0	0	0
		30	5.6	33.19	0	0	0	0

At = *Alexandrium tamarense* (イカリバシ) / ムネシロシ = 旧名アホシ / コナシ / シロシ
 As = *Alexandrium affine* (イカリバシ) / ムネシロシ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* (イカリバシ) / ムネシロシ
 Da = *Dinophysis acuminata* (イカリバシ) / ムネシロシ
 Dn = *Dinophysis norvegica* (イカリバシ) / ムネシロシ
 Dri = *Dinophysis rotundata* (イカリバシ) / ムネシロシ
 Dm = *Dinophysis mitra* (イカリバシ) / ムネシロシ
 Dc = *Dinophysis caudata* (イカリバシ) / ムネシロシ

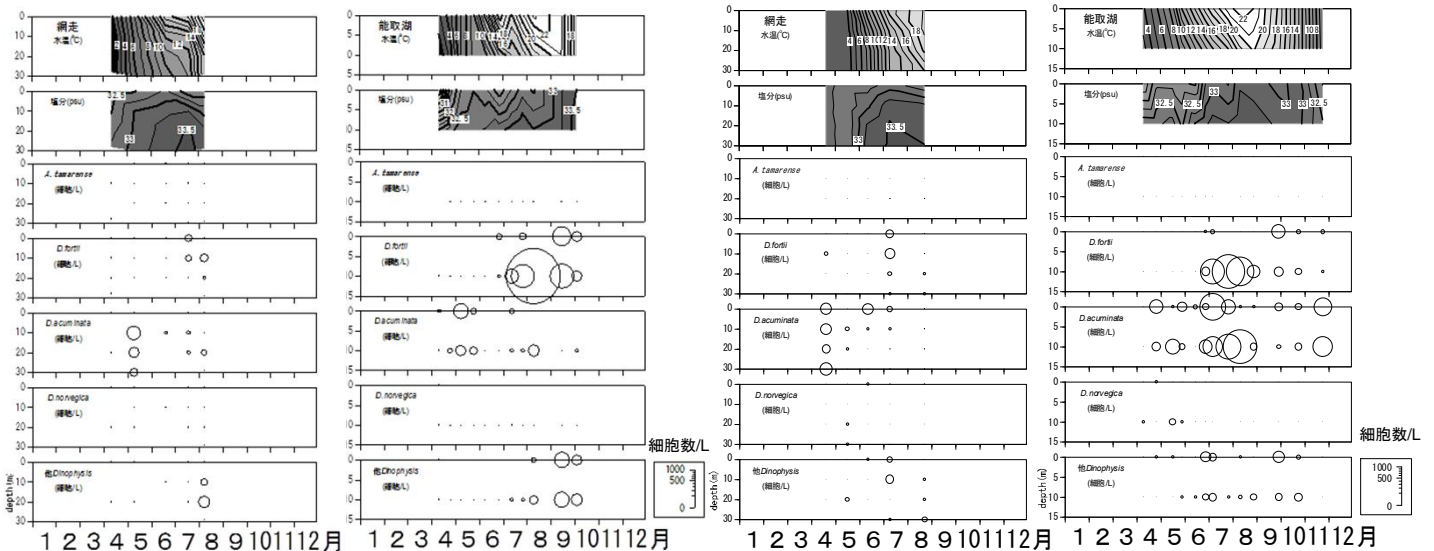
コメント
 網走定地点(5/21)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。
 網走定地点では下痢性貝毒プランクトン *D. fortii* / *D. acuminata* が少数出現しています。
 網走定地点の表面水温は8.0℃、30m層の水温は5.6℃でした。
 現在、宗谷北部、網走北部およびサロマ湖海域では、下痢性貝毒による出荷自粛措置がとられています。
 ※ 頓別海域および紋別海域の速報については、5月以降は中央水試から発信されますので、中央水試の速報をご覧ください。

(担当: 平野和夫・清河 進)

網走南部(網走)・能取湖海域における水温・塩分と*A. tamarense*および*Dinophysis*属の鉛直分布の季節変化

2010年

2011年



(調査研究部 資源増殖グループ 平野和夫)